

令和5年度石神中 学校だより

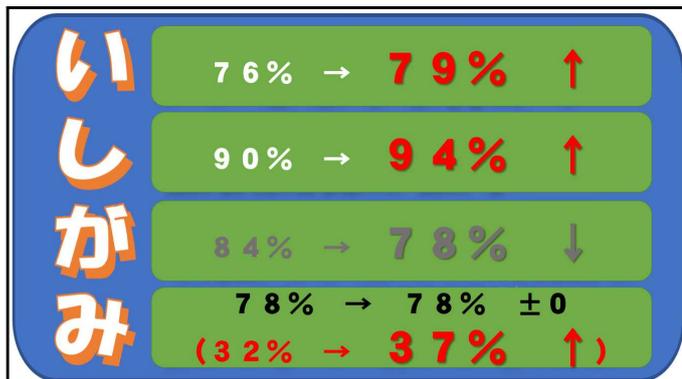
いいところを伸ばす
信頼関係が基本
しがみ 頑張れすぎずに頑張る
み 自ら学ぶ 自ら考える

令和5年12月22日発行〈第8号〉：南相馬市立石神中学校長

85日間の2学期が終了しました

2学期が無事終了しました。文化祭をはじめとした様々な学校行事を通して、「生徒の本気」「生徒の持つポテンシャル」を見せてもらいました。普段は遠慮がちだったり控えめだったりする生徒も、役割と場面が与えられれば、臆することなく堂々と自分の力を発揮する姿に何度も出会いました。生徒の「一步踏み出す勇氣」と教職員の「ポンと背中を押しつつ見守る姿勢」がかみ合った2学期だったと思います。

終業式における校長からの話の中では、「い・し・が・み」についての生徒達の自己評価結果を、1学期のものと2学期のもので比較しながら、その成長を評価し褒めました。なかでも、「できている」「どちらかといえばできている」を合わせた数値が「90% → 94%」となった「し：信頼関係が基本」については、3学期には「石神中人権宣言」の視点に基づく「質の向上」を目指して欲しいと話しました。



**12月22日は、
「石神中人権宣言」の日!**

前文 たち石神中学校の生徒は、誰もが安心して楽しく学校生活を送る権利とそれを守る義務があります。そのために、ここに石神中人権宣言を定めます。

第1条 思いやりの気持ちを持って生活します。
 第1項 相手の気持ちを考えて行動します。
 第2項 優しく接します。
 第3項 自分がされて嫌なことはしません。
 第4項 いじめの原因を作しません。

第2条 善悪の判断をし、場に応じた行動をします。
 第3条 困っている人を見かけたら相談に乗り、助けます。
 第4条 お互いの違いを認め合い、相手の良い所を尊重します。

平成29年12月22日採択

- 第1条 思いやりの気持ちを持って生活します。
 第1項 相手の気持ちを考えて行動します。
 第2項 優しく接します。
 第3項 自分がされて嫌なことはしません。
 第4項 いじめの原因を作しません。
- ◆相手の気持ちを考えて行動
 ◆自分がされて嫌なことは相手にもしない

荒れた状態（安心できない）

「権利」 「義務」

「石神中人権宣言」の採択は、「平成29年12月22日」。今日がまさに「採択から6周年」の記念日であり、それにこめられた思いや願いを振り返るには絶好の機会でした。

この「人権宣言」の前文の中に出てくる「誰もが安心して楽しく学校生活を送る権利とそれを守る義務」について、少し掘り下げて話しました。

余談ですが、某大河ドラマ最終回での「つまらぬ国になるであろう。正々堂々と戦うこともせず万事長きものに巻かれ、人目ばかりを気にし、陰でのみ妬み、あざける。」は、敵の大將に向けた憎しみとも負け惜しみともとれるセリフでしたが、どこか現代社会の闇を風刺してい

たように思います。生徒達が主役となる遠くない未来が、少しでも良い未来となるよう、今後
もご家庭と連携しながら「人づくり」に努めていきたいと思ひます。

文化面での表彰、続々と!

- ◆ 「令和5年度 赤い羽根共同募金運動スローガン」に、県内から800点以上の応募があつた中から、本校の佐藤さんの作品『赤い羽根 見えない笑顔の 贈り物』が、見事、優秀賞6作品のうちの1つに選ばれました！
その表彰のため、福島県共同募金会の小川常務理事様らが来校され、佐藤さん本人に賞状と盾などを手渡してくださいました。
- ◆ 「中学生の税についての作文」に応募していた本校3年生の小泉くんの作品が「相馬税務署長賞」に輝き、先日、西崎所長様らが来校され、小泉くんに賞状と副賞を授与していただきました。
税に関することや税理士・会計士という職業についても関心を持っていた小泉くんならではの立派な作文でした。なお受賞した作文は、今後、ポスターなどにも掲載されて広報活動に役立てられるそうです。



- ◆ 12月9日(土)に行われた「第51回福島県アンサンブルコンテスト相双支部大会」において、本校吹奏楽部から出場した2組ともが、「金賞」を受賞し、県大会への出場権を獲得しました。県大会は、1月13日(土)に喜多方市で行われる予定です。



よいお年をお迎えください!



♪もう〜いくつ寝ると〜、お正月〜♪
2024年は辰年。「陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年」だといわれているそうです(諸説あり)。
オリンピックyearでもありますね。冬休み中も感染症対策を忘れずに、よいお年をお迎えください。



学校HP 石神中学校 🔍 または 南相馬市教育ポータル 🔍 と検索!